

100 歳まで生きる時代のリスク どこで、誰から支えてもらうのか

いまは元気で若い高齢者も、いずれ自力で生活を担えなくなるときがやってきます。ひとり暮らしなら自分しだいのこともありますが、夫婦二人暮らしの場合、食事づくりや洗濯などひとり暮らしよりさらに大変になってきます。できなくなったことを人に支えてもらいながら、最晩年を住み慣れた地域で暮らし続けるために必要な力と覚悟とは…。ともに考える時間を持ちましょう。

11 月 9 日 (日) **定員 40 名**

13:30～15:15 (受付 13:00)

会場：高槻市立生涯学習センター 3 階 研修室

参加費：会員 1,500 円 準会員・一般 2,000 円



講師 春日キスヨ氏 (社会学者)

＜プロフィール＞

元松山大学大学院人文学部教授。「高齢社会をよくする女性の会・広島」代表。専門は家族問題を対象とする社会学。『介護とジェンダー』(家族社)で、山川菊栄賞受賞。『百まで生きる覚悟ー超長寿時代の「身じまい」の作法』(光文社新書)で元気高齢者にとっての“倒れたときへの備え”の必要性を説く。昨年発刊『長寿期リスクー「元気高齢者」の未来』(光文社新書)では、超長寿期にはひとり暮らしより夫婦暮らしの生活リスクが高い事実を示し警鐘を鳴らす。他の著書に『介護問題の社会学』(岩波書店)、『いま家族とは』(鶴見俊輔、浜田晋、徳永進との共著(岩波書店)等多数。

＜エンディングセンター・スタッフより＞

前回、『百まで生きる覚悟』をテーマに講演していただいてから6年が経ちました。今回は、80代になった春日氏が「自分ごと」として調査し、考え、見えてきたことをお話していただきます。

子どもがいても「子どもの世話にはならない」と思っている人、そして、親と離れて暮らす 40～50 代の子ども世代の人たちにもぜひ聞いてもらいたいです。質疑応答の時間も設けています。貴重な機会ですので、ぜひご参加ください！

申込方法：①電話 072-669-9131 (関西事務所)

②申し込みフォーム、または右記のコードから

<https://forms.gle/4tHgUibQ7c5SKoHc9>

申込締切：事前予約もしくは当日受付可

***定員になり次第あしからず締め切らせていただきます**



認定 NPO 法人エンディングセンター 関西事務所

〒569-1051 大阪府高槻市原 1371-4 神峯山寺開成院霊園内

(10:00～16:00 火曜・木曜定休)

TEL.072-669-9131 メール:kansai@endingcenter.com

ホームページ <https://www.endingcenter.com/>